

令和3年度 第1学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題 (思・判・表または、態)	・重点をおく単元、 カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な方策 ※ 課 ：課題 発 ：発問・指示・板書 教 ：教材の工夫 他 ：その他
国語	思・判・表 ・自分の思いや考え、出来事を相手に分かりやすく伝えるために、順序や文の区切りに気を付けて文章に書いたり、話したりする力が不十分である。	・「しらせたいな、みせたいな」 ・「ともだちのこと、しらせよう」 ・「いいこといっぱい、一年生」	教他 ・自分の思いや出来事を絵や表に表し、それをもとに文章を書くようにする。 他 ・自分の考えや思いを言語化できない児童のために、日常の場面等と結び付けながらどう思ったか、どう考えたかを問う機会を意識的に設ける。
算数	思・判・表 ・足し算引き算の計算の仕方を考える時に、問題解決した過程や結果を、具体物や図などを用いて表現し伝え合うことができる児童は、80%程度である。	「あわせていくつ ふえるといくつ」 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」	発 ・計算の仕方や、立式の過程や結果を説明する機会を多く作る。その際、既習の算数的用語を使いながら説明するようにさせる。 教 ・生活の中でたし算、ひき算が使われている場面を見つけ、活用できるようにする。
生活	(思・判・表) ・活動にすすんで取り組み、その活動を通してどんなことに気付いたか、どんなことを思ったかを尋ねると、答えられない児童が多い。	・「じぶんでできるよ」	発 ・活動ごとに振り返りをし、その活動で気づいたこと、思ったことを子供たちに尋ねる機会を増やし、個々の気づきについて価値づけしていく。 他 ・自分の思いや考えを表現する活動を生活科以外の教科の学習でも行っていく。
音楽	(思・判・表) ・音の高低、強弱、リズムの速さを理解するのが難しい児童や、適切な言葉で表現できない児童がいる。	・「みみをすましてがっきのおとをききましょう」	課 ・鑑賞の学習を通して、音の高低、強弱、リズムの速さなどを、曲を聞きなおしたり、実際に楽器で音を鳴らしたりしながら、全体で確認し、体の動きで表現する等して、正しい感覚や用語をつかませていく。

令和3年度 第1学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

<p>図 工</p>	<p>思・判・表 ・教師の見本を見て真似をしてしまう児童が多くおり、創造的に作品をつくる力に課題がある。</p>	<p>「チョッキンパツでかざろう」 「すきなものいっぱい」</p>	<p>教・折り紙などの紙を使用して、つくることを楽しみながら、ハサミの動かし方や安全な使い方を指導する。 教・うまく描けなかった場合でも、気軽に描き通せるように、画用紙は1/4または1/8の大きさに切っておく。</p>
<p>体 育</p>	<p>思・判・表 ・できそうな運動遊びや、友達と一緒にに行くと楽しい運動遊びを、運動遊びをする場や使用する用具を変えながら遊ぶことに課題がある。</p>	<p>「くねくね走」 「ハードルリレー」</p>	<p>教・できそうな運動遊びや友達と一緒にに行う運動遊びを自分で興味をもって選び、工夫できるような場を設定する。</p>